

事務局からのお知らせ

● 事業実施状況報告(5月末)

		令和5年	令和6年
会員数(人)	男	1,285	1,256
	女	463	467
	計	1,748	1,723
就業実人員(人)※		1,380	1,318
就業率(%)		78.9	76.5
受注件数(件)	公共	28	28
	民間	1,002	966
	派遣	24	25
請負契約金額(千円)		127,519	121,488
派遣契約金額(千円)		24,178	22,829

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。



● 事務局からお願い

◎ センターの電話番号の登録をお願いします！

就業の紹介や作業日報の確認など、多くの用件で会員皆様の携帯電話や自宅の固定電話に連絡をします。センターの電話番号の登録を必ずお願いします。

センターの電話番号
04-7166-6681



◎ 取材に伺います！



ボランティア活動や職群班活動、PR活動などセンターの会員として活動している姿を広報部会が取材に伺います！

広報部会担当、川口までご連絡ください。

編集後記

▶今、5月下旬です。入梅の季節となり、台風1号の発生がありました。猛暑の夏がやってきます。熱中症対策で、十分な水分補給と適度な休息が必要です。
▶来月から、「そごうビル」の解体工事が始まりま

す。無事に工事完了することを願っています。また、慣れ親しんだ「イトーヨーカ堂」の閉店が決定しています。時代がどんどん変化しても、安全一番・健康一番です。
【広報部会K】

■ 配分金支払日

- 6月分 : 7月25日(木)
- 7月分 : 8月26日(月)
- 8月分 : 9月25日(水)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局へご連絡の上、窓口までお越しください。Smile to Smileでも確認できます。

ゆずりはクイズ Part 60

- Q1、令和6年度定時総会の議長の名前は？
 - Q2、新たに役員となった方の名前は？
 - Q3、「シルバー学び隊」事業とはどのような事業？
- ☆ヒント：2面、7面を見てください。

◎ 答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは **8月9日(金)** です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。
会員番号と氏名 を忘れずに書いてください。

◎ ゆずりはクイズ Part59の正解

- Q1の答：指差し、声出し、再確認 皆で実行 事故防止
- Q2の答：子供ルーム
- Q3の答：近隣センター

応募数22通
うち正解者数
20通でした。

お願い 作業日報の提出について

作業日報は、締日から3日後まで(月末締めは翌月3日まで)にセンターへ提出をお願いします。

郵便事情により、作業日報がセンターに届くまで時間がかかり、発注者から請求書の催促をされるが増えています。作業終了後、速やかにセンターへ作業日報を提出するようご協力をお願いします。

ゆずりは

第132号

編集・発行 令和6年7月20日
公益社団法人 柏市シルバー人材センター
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1
柏市保健勤労会館2階
TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150
URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>
メール kashiwa@sjc.ne.jp



目次

- 2P 定時総会 / 役員紹介
- 3P シルバーサロン / 地域班解散 / ゆずりは会の解散
- 4P 安全標語の表彰 / 安全だより / 事故発生状況
- 5P シルバーの顔 / 植木班会議 / パソコン班会議
- 6P 駐輪場班会議 / 除草班会議 / 介護サポートサービス
- 7P 就業期間設定基準の廃止 / シルバー学び隊募集 / S G会
- 8P 事務所からのお知らせ / 編集後記



飯嶋 良治さん
P5をご覧ください!!

令和6年度 定期総会

6月26日(水) アミュゼ柏クリスタルホール

6月26日(水)アミュゼ柏クリスタルホールにて、令和6年度定時総会が開催されました。会場には元気な会員皆さんの姿が見られ、この場で久しぶりに会う会員同士の交流も行われていました(出席会員64名、委任状等1,328名)。

司会進行は工藤理事が務め、飯島副会長の開会のことばから始まり、会員の誓い唱和の後、田口幸子会長から「今年の秋に施行が予定されている『特定受託事業者に係る取引の適正化に関する法律』(フリーランス新法)に適切に対応するため、デジタル化の推進に努めていく」と挨拶がありました。

次に、来賓からの祝辞を頂戴したいところではありましたが、市議会の採決日と重なったため、出席して頂くことができませんでした。

続いて、議長に木下好則理事、議事録署名人に奥山文男会員、中島優会員が選出され、木下好則議長の進行により総会が進められました。

議案第1号の令和5年度事業報告、議案第2号の令和5年度決算について、松田事務局長が説明し、議案第3号の理事の選任については、田口会長から説明がありました。持田監事から、監査報告がなされた後、報告事項として松田事務局長から令和5年度補正予算、令和6年度事業計画、令和6年度収支予算書等の報告がありました。令和6年度事業計画には、会員の拡大、就業機会の確保・拡充、安全就業の推進、デジタル化の促進等が挙げられています。役員、会員、事務局の三位一体となって事業計画の推進に取り組んでいきましょう。



最後に、議案について審議され、出席会員多数の賛成により原案通り可決され、飯島副会長から閉会のことばで、総会は無事終了しました。

表彰

● 一般表彰の部

- ①特別養護老人ホーム・マーガレットヒル様
- ②京阪カインド株式会社様
- ③有限会社和幸ビルサービス様
- ④美里ゴルフ株式会社様
- ⑤社会福祉法人長岡福祉協会
- ⑥株式会社イトーヨーカ堂ヨークマート花野井店様
- ⑦株式会社イトーヨーカ堂ヨークマート青葉台店様
- ⑧株式会社リサイクル様
- ⑨京葉産業株式会社様

● 役員表彰

- ①日野良英会員 ②宮島敬会員 ③高橋行雄会員

● 会員表彰の部

【地域班表彰】

- ①増田健一班長(田中地区 若柴・十余二班)
- ②西極廣計班長(柏西地区 篠籠田1班)
- ③入木春義班長(柏東地区 柏中央班)
- ④鈴木力班長(柏東地区 千代田・東班)
- ⑤伊藤芳雄班長(土地区 南増尾班)

◆ 新任役員紹介 ◆

● 常務理事 酒井 勉

会員の皆様生きがいを持ち、安心・安全に就業できる環境づくりに努めます。どうぞよろしく願いいたします。



● シルバーサロン開催

6月3日(火)パレット柏にて、「シルバーサロン」が開催されました。田口会長をはじめ、飯島女性部会長と女性部会メンバー、ジョブコーディネーター(入山、下)、事務局を含め8名で来場した市民に対応しました。

当日は、前日の大雨や天候不順の影響もあったせいか来場者は前回よりも減少し、8名でした。その分一人ひとりじっくりと相談に向き合えたことは良かったと思われます。来場者の多くは女性でした。

広報「かしわ」でシルバー人材センターを知って来



た方、通路の向かい側で開催していた写真展の帰りに立ち寄られた方など、きっかけは様々でしたが、就業への意欲を示されている方が多く、来年の定年を見据えてどのような仕事があるかを知りたい、あるいは事務職を希望だが可能だろうかなど、積極的に質問されていました。半数の方が入会説明会の予約をして帰られました。

駅近くでのシルバーサロンの開催は、当センターを身近に知ってもらえる点で重要な活動です。開かれた窓口として、今後も継続的に進めていきたいと思います。



● 地域班の解散

当センターの長年の課題である、地域班活動の活性化について、様々な施策を講じてまいりましたが、満足な結果が得られませんでした。

また、地域班役員の高齢化や後継者不足問題も浮き彫りとなり、総務部会を中心に、地区長会議、地域班全体会議、理事会で協議を重ね、役員対象のアンケート調査を実施した結果、令和6年5月31日を

もって、地域班を解散いたしました。今まで、ご協力いただきました地域班役員の皆様には、感謝申し上げます。ありがとうございました。



● 「柏ゆずりは会」の解散

「柏ゆずりは会」役員会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、4年間に亘り行事ができていない現状と、今後も行事の開催が困難な状況を踏まえて、本年6月をもって本会を解散することを決断させて頂きました。

活動資金の残高264,862円については、社会福祉法人 柏市社会福祉協議会に寄付いたしました。

平成24年4月設立以来長年に亘り、ご参加、ご協力頂きましたことに感謝申し上げます。

(役員代表 坂内マサ子)

令和6年度安全標語の表彰

令和6年度安全標語の選考が安全委員会で行われ、応募者数13名、応募作品数24作品の中から、最優秀賞、



優秀賞、佳作の3作品が選ばれました。選考された3名の方には、4月19日の理事会席上で表彰式が執り行われました。



左から 佳作の山次省治郎会員
優秀賞の鈴木雅春会員
最優秀賞の大金瑞雄会員

安全だより

安全委員会委員長

近年、異常気象が話題となっています。大雨や強風による被害が世界中で発生していますが、気温の上昇による変化は私たちが直接感じることができる異常現象ではないでしょうか。今年、5月初めには夏日を、6月には真夏日を記録するなど、年々早まってきています。気温の高い環境下では私たちの身体に与える影響は大きく、特に乳幼児や子ども、高齢者には厳しい環境になります。高温の環境で具合が悪くなることがあります。そうです、熱中症です。昔は熱射病とか日射病と言われていたと思います。以前は、塩分の摂取や帽子を被るなどで対処していたと記憶しています。現在はどうでしょうか。熱中症で救急搬送される方が毎日のように報道され、高齢者にとっては重篤な状況

に陥る場合もあります。安全委員会では、熱中症対策について注意喚起を行っています。必要な作業場所には暑さ指数計を配布し、適宜休憩を取っていただくようお願いしています。高温多湿の環境下での作業に当たっては、帽子の着用やこまめな水分補給をすることや、体に異変を感じたら速やかに風通しの良い日陰で休憩をとりましょう。無理はしないでください。また、作業している仲間の動作に異変を感じたら声掛けをお願いします。身体を暑さに慣らす、十分な睡眠をとるなど、日頃の体調管理にも気を付けましょう。



令和5年度 事故発生状況

令和5年度事故発生状況

令和5年度は、26件の事故が発生しました。就業中の事故が19件、就業途上の事故が7件となっています。

主な事故事例

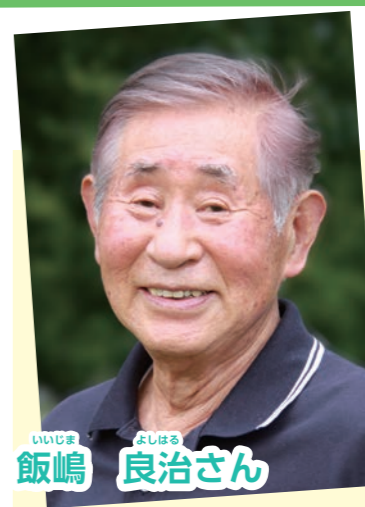
- 就業中の事故……転倒による打撲や骨折、作業ミスにより商品の損傷、カート回収中に車への接触など
- 就業途上の事故……自転車やバイクで転倒して打撲や骨折、縁石につまづき骨折など

これらの事故のほとんどは、会員の不注意による事故です。少し注意していれば、防げた事故でもあります。

「今まで出来ていたから大丈夫」、「このくらい平気」というちょっとした油断から事故、怪我が発生してしまいます。

「注意1秒怪我一生」という言葉があります。1秒の注意を怠ることで、一生に渡って辛い思いをするような大怪我をすることがあるという意味です。逆を言えば、一人ひとりちょっとした安全意識を持つことで事故も防げるということです。無事故で健康的な日々を過ごせるよう安全意識を高めるよう心がけましょう。

シルバーの顔



いじま 良治さん



● シルバーでの仕事

飯嶋さんの仕事は、賞状や感謝状、各種の修了証などに毛筆で氏名や文字を記す、筆耕です。正確にかつ美しく漢字や仮名を書く文字の専門職です。

普段は提出日に間に合うよう練習を重ねてから清書します。自分の考えた通りに、文字をきちんと書けたときに嬉しいとのこと。「要は文字を書くことが好きなんです」と、就業の動機を語ります。

女子高校で政治経済や倫理、地理を教える社会科の教師として勤務すること40年、退職する5年ほど前から筆耕の技術を学ぶために銀座の教室に通い始めました。自宅での練習はたとえ10分でも毎日行うことが大切とのこと。端正な文字は日々の練習で培われたものでした。定年後にシルバー人材センターに入会、最初は違う分野での就業もありましたが、現在は希望する筆耕の仕事に従事しています。

● 健康は規則正しい生活と適度な運動

92歳の飯嶋さんを支えるのは規則正しい生活と適度な運動です。起床は6時半から7時の間、朝食後は庭の手入れ、昼食後は軽く昼寝をして、天気が良ければ散歩です。6000~7000歩が目標で、60年連れ添った夫人の俊子さんとよく出かけます。週に一度はジム通い。夕食

には少しの赤ワインも日課です。趣味は映画鑑賞や、王羲之など好きな中国の書家の作品を臨書すること。

● もっと日本の文字を見直して

パソコンソフトの流通で筆耕の仕事も減ってきたとのこと。日本の伝統文化である手書きの文字をもっと見直して欲しいと飯嶋さん。毎年の年賀状の表書きはもちろん毛筆、かつての教え子からの便りも届くそう。これからも美しい文字に挑戦し続けます。

● 植木班会議

今年度第2回目の植木班会議が5月29日(水)にセンター大会議室において開催されました。

出席者は、稗島班長はじめ各班の班員、事務局を含め、12名の出席がありました。

会議は、稗島班長の挨拶から始まり、事務局の和田職員から連絡事項があり、班員の移動、入退会状況、事故の発生状況等がありました。今年度は、既にアンテナケーブルを切断してしまう事故が発生しています。全国のシルバー人材センターでは、転落による死亡事故も発生していま



す。保護具の装備や安全作業の徹底について再確認を行いました。

次に、直近の受注状況や9月までの受注可能件数の確認を行い、班ごとに希望件数の要請がありました。また、各班の要望事項では、更なる「人材の確保」の話があり、事務局も一緒になって前向きに検討すること。稗島班長からは、①班員増強、②新班増強、③安全就業について、それぞれの課題について提案され、参加者全員で協議し、これからの班活動の方向性を決めました。

次回の会議は、7月31日(水)に予定しています。植木班各班の班長の皆さんは、就業の調整を行い、ご出席をお願いします。

● パソコン班会議

6月3日(月)大会議室において、パソコン班会議が開催されました。出席者は林班長、日野副班長を含めて班員7名と事務局から酒井常務理事と和田職員、パソコン班入班希望者の見学もあり計10名で行われました。

最初に、定例議題である「パソコン班受注一覧表」に基づき、28件の案件毎の内容、受注に至った情報源など、各班員からの報告がありました。依頼内容は、パスワードを忘れてしまい操作が不能になったとか、新たに購入したパソコンの初期設定が出来ないなど、初歩的なことから技術的に高度な相談と多岐に亘っており、その問題点や対応に苦労した話も交えて情報交換を行いました。

話を伺っていると、班員皆さんの御苦労と解決した後のお客様の喜びの顔が目に見えます。



現在、パソコン班の班員は8名ですが本日見学された方も新たに班員となるとのこと。今回の会議では、班員毎の担当件数で作業量の調整と確認、発注依頼書のフォーマットの改善や、パソコン班PR用チラシについて、検討がされました。

依頼される方は、「広報かしわ」でその存在を知った方が多いようですが、会員の皆さんも是非「パソコン班」の存在と活用、お知り合いの方へのご紹介をお願いいたします。

● 駐輪場班会議

5月2日、第1回駐輪場班会議がセンター大会議室で開催されました。出席者は各駐輪場連絡員と事務局職員を含めて7名でした。

初めに各駐輪場から班長と副班長各1名が選出された後、今年度の業務について議題が移りました。

一つ目は市から新たに依頼された場内の巡回です。開始時期は5月13日から、平日は週3回以上、休日は2回以上の実施で、早番・中番・遅番で一度ずつ行きます。注意点は、詰所が不在にならないよう勤務が重複している時間帯に行き、担当者は各駐輪場で相談して決めてほしいということでした。

また巡回記録は、新たに配布される平日と休日を含めた「巡回チェック表」に記入して毎月提出し、これまでの休日チェック表は廃止になります。

続いて今年度の定期申請手続きについて意見交換が行われました。駐輪場によってはオンライン申請が加わったことで混乱が生じたケースもあり、チェック方法について活発な議論が交わされました。関連してこの間の増員人員が適切であったかどうかについても、各駐輪場に意見が求められました。

次に柏市自転車対策室から、利用者からの指摘を受けて、利用者に接する際には馴れ馴れしい口調で話すのではなく、丁寧な言葉遣いを心がけることなど接遇のポイントを改めて確認しました。

最後に、これまでの就業期間の5年間という基準設定が撤廃されたことと報告されました。今後の継続は、ご自分の健康と意欲と相談の上、ということになります。



● 除草班会議開催

令和6年度の除草班会議が、6月7日(金)センター大会議室で開催されました。会議は新班長に就任した石田班長の挨拶から始まり、和田職員の進行で議事が進められました。出席者は職員を含む17名でした。

議題の中心は、今年度に発生した事故の検証と改善方法の検討でした。3件の事故はいずれも刈払機を使用中に起きたもので、公園や駐車場に隣接する空地などでの作業中、飛び石により駐車してあった自動車のリヤガラスを破損させたという内容でした。自動車との距離が20m離れていても破損事故が起きたケースもありました。

まず刈払機の種類と安全な使用法の動画を視聴した後、討議に移りました。基本的な対策として、飛び石防

止ネットの使用を徹底することを確認。また各自の経験から、環境に応じてブルーシートやベニヤ板を張る、近隣の家には作業中、雨戸を閉めていただく、あるいは自動車の移動をお願いするなどの有効的な意見が出されました。繁忙期の現在、安全対策は最重要課題です。

次に、発注者に作業日の連絡や見積り金額を伝えることの確認、またインボイス制度に関連して、刈草を南北ゴミ処理場へ持ち込む際の申込書には、当センターの住所と名称、搬入者の氏名を記入して欲しいという要望が事務局から出されました。

お互いに声をかけ合って、作業を進めましょう。



● 就業期間の設定等に関する基準の廃止

当センターでは、市から委託されている駐輪場や公園管理、近隣センター等の就業については、就業期間を5年までとした基準を定めていましたが、就業希望者の減少や、後任の補充が出来ない状況が続き、発注者からの資質の維持・向上を図ってほしいとの要望を受け、基準を廃止しました。

今後は、就業者本人の意向や体調、就業状況等を考慮し、適宜就業継続の判断をさせていただきます。

また、就業希望者が増加してきた際には、ワークシェアの観点から、理事会や専門部会等で協議し、必要に応じて基準の設定をすることがありますので、ご了承ください。



● 「シルバー学び隊」事業募集

「シルバー学び隊」事業とは

会員が培った知識や経験を活かし、会員自らが講師となり、講習会や講座を行う事業です。

今まで実施した講習会や講座

○ 英語しゃべり隊

初心者でも安心して参加できる、英語のおしゃべり講座が開かれました。



○ 折り紙教室

折り紙の達人がいろいろな技を教えてくださいました。



○ 和おどりの会

柏おどりを中心に盆踊りの練習を行っています。



《 相談等の窓口 》

シルバー学び隊事業に興味を持った方は、右記担当までご連絡ください。

TEL : 04-7166-6681 FAX : 04-7163-4150
Eメール : kashiwa@sjc.ne.jp
シルバー学び隊事業 担当 和田

● 第35回SG会

5月20日、成田フェアフィールドゴルフクラブにて、初参加1名を含め16名で開催した。スタートは予約確保困難の結果10時10分。遅いので満杯かと予想していた駐車場はガラガラ。雨予報で大半がキャンセルしたとのこと。整理員から準備出来次第スタートして良いですと言われ、小康状態になるのを待ってスタート、4ホール目からは傘は要らなくなった。遅めのスタートが幸いした。昼、貸切状態のレストランで、コースを見下ろしながらの食事、雨上がりで木々、芝の緑が一層映え、フラットな地形、大きな池のレイアウトが美しかった。ロングホールは最長540ヤード、ミドルホールでも最長424ヤードで打ちがいがあった。グロス100を切ったのは3人、入浴後は恒例の表彰式。優勝は、ベスグロ、ニアピン、

ドラコン二つの賞も獲得し、「賞品ホールは球が真っ直ぐいった、メンバーにも恵まれた」と語った西憲昭会員。入賞や順位賞、BG、BB、DC、NP賞の表彰と、受賞者の喜びの声の他、全員がプレーの感想や近況スピーチを行って終了。次回は10月21日の予定、元気で再会することを約束し閉会した。

寄稿 日野 良英



介護サポート サービス情報

「介護サポート」の就業会員の体験などをシリーズでお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです。
(取材 女性部会役員)

- 内 仕事の内容
- 慣 慣れるのに要した期間
- 苦 苦勞したこと
- 続 就勞期間、継続するためのポイント
- 始 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽 楽しいと思うこと

体験1 (Yさん)

- 内 介護施設で、入所者の方々(10名分)の朝食の用意と片づけを朝7時から9時まで週3日担当しています。
- 苦 コロナ前は3種類のおかずを手作りしていましたが、今はレンジで温めて盛り付けるだけになりました。お味噌汁は、心を込めて手作りにしていますので、喜ばれています。
- 始 他の所でも同様の仕事をしていたのですが1人で担当する

- 楽 朝早い仕事になりますので、健康に気をつけるようになり、早朝の散歩を始めました。歩くようになってから、早朝の清々しさに気付く事ができ、感謝しています。
- 慣 施設の方々との交流と、入所者の方々の笑顔ですぐに慣れる事が出来ました。
- 続 様々な人達との交流を大切に、健康に気をつけて笑顔で頑張りたいと思っています。